

様式 2 - 1

事業職員における事業所評価に関する集計結果【児童発達支援】（令和7年度公表）

公表日：令和8年3月27日

事業所名：今金町子ども発達支援センター【きらきらクラブ】

■職員数：5（2026年2月28日現在） ■回答数：5 ■回答率：100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		3	2	・ホールをパーティションで仕切ったり、小集団で使用している。	・利用者数の多い時間帯等、部屋やスペースの確保に困難などところがあるので、限られた環境の中で構造化できる環境や活動を検討し、対応する職員等を適宜調整し、整備を図っていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		3	・利用定員に対しては適切かもしれないが、小学校への支援に向かう職員もいることから、適切とは言えないと思う。	・機関支援との兼ね合いを踏まえ、不足となる点を補える体制を整備し、適切と感じられる運営の進め方を見直していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	4		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1		3		・今後、職員間で共有できる機会を設け、業務の振り返りや目標の見直し・再構築の図れる体制を整備していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			5	・意見に対して職員が揃って話し合う機会がなかった。今後はそのような機会を増やしてほしい。	・意見を踏まえ、今後、職員が一斉に揃い話し合える機会を増やせるよう見直しや業務整備を図ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な 支援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		1		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		2	・自分自身、他の児童の計画をじっくり見る余裕がなかった。	・意見を踏まえ、職員間でじっくり検討の図れる機会をつくり、支援の見直しや検討を図られる体制を整えていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		2		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		1		
17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	2		・活動のプログラムを個別に検討しているところが多かったことは見直しを図り、今後は職員間で検討・共有の場を設ける等立案の体制を整えていくよう整備します。	
18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		2			

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		2	3		・職員が揃って打合わせできる時間の確保が難しいことが多かったため、今後は職員の役割や体制の明記化を図り、支援や活動の検討や共有のできる体制を整備していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	1		・支援の終了後と職員の勤務時間等で、その日の振り返り等が難しいことがありますが、今後は、確認や協議のできる場を設け、支援の共通性や改善に努めていきたいと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		2		
関係機関や保護者との連携	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		1		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		2		
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	2		・子ども同士では、子どもの様子や特徴に応じて難しいところは多いですが、当法人のこども園の遠足で施設を開放し貸出しする等、他の子どもとふれあう機会は従来より増えたかと思えます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	2		・R7年度はご家族の参加できる研修会の機会は専門支援等限られた機会であったため、今後はご家族も参加がしやすい研修会等にも取り組んでいけたらと考えています。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		3		
保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		1		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	1		・緑日交流会の他に保護者の交流会等の機会を検討することも考えられますが参加できる保護者数や日時の調整等、時間外対応も必要である場合を鑑み、有効的な実施の検討は必要です。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	1		・行事等の案内等、通信等を定期的に発行することが難しく、HPやSNS等の導入・活動も現状においては検討していないので、今後必要性があるものに関しては取り組むべきか検討していきたいと思えます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への対応 非常時等の対応	41 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	1	・緑日交流会の時には、お友だちを誘ってと伝えているが人数は少ない。	・行事については個々に都合等もあるかと思しますので、広く参集できるまでには限りもあるかと思ます。行事以外の事業を通しセンターの認知を広げ地域に開かれる運営も検討していきます
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		2		
	43 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		1		
	44 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		1		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	1		・虐待防止の研修会についてはピアサポート事業や日頃の支援等の振り返り等を通し確認・啓発を行っています。今後も職員間で啓発を図り防止に努める取り組みを進めていきます。
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。